

日 整 連

# 新FAINES 故障事例データ 情報量を順次拡大

## 3千件でサービス開始

日本自動車整備振興会連合会(日整連、坪内協致会長)は、10月を予定している整備情報サービス「FAINES(ファイネス)」の全面改定に伴い、約3千件の故障事例データを新FAINESに掲載する。故障事例が登録される車種は型式ベースで約800車種になる見込み。今後は必要に応じて故障事例の掲載件数を増やす。全国の整備振興会を通じて蓄積した故障事例データを集積・配信し、会

員事業者の故障診断整備の適正実施につながる考えだ。

日整連は、今年度からメンソーと日立オートモティブ&サービスが提供するスキキャンツールと専用ソフトを全国53カ所すべての整備振興会に配布

し、技術相談窓口における故障事例データの収集を進めてきた。6月から専用ツールで各振興会からのデータ登録を開始し、8月末までに事前入力データの登録を完了する予定だ。

蓄積情報の整理や精査の關係から、新FAINESにおける故障事例の掲載件数は約

3千件でサービスを開始する。ただし、今後も各振興会で故障事例の収集を続け、情報量を順次拡大する。故障診断の比較参考値となる故障事例データの提供で適正な診断整備の実施を促すとともに、整備業界のIT化に一層弾みをつける。